

研究室研究室名 または研究分野	観光コンテンツ・地域デザイン研究室	担当教員	谷 光
演習テーマ	地域の魅力をプロデュースする手法を学びます		
目 標	<p>近年、日本の各地方・観光地では来訪者誘致を競っていますが、各地域における盛衰・持続可能性を決める要因は何でしょうか？</p> <p>多くの場合、観光コンテンツの情報・発信・演出等のコーディネートによって、外部から見た魅力度や来訪意向は高まると考えられますが、その前提として各地域に必要な各産業とのネットワークや、受け入れ側の地域のあり方を学び、持続可能な観光地の魅力のプロデュース手法を研究します。</p> <p>特に、今後の観光産業が来訪者(ビジネス客含む)に対して、どのようなアプローチをすべきか考慮し、そのサプライチェーンやマーケティングのあり方について、積極的に議論できるよう、基礎的な学習から始め、就職時に観光業界や各地の観光行政組織・DMO等で通用するキーパーソンになることを目指します。</p>		
内 容 (特 徴)	<p>&lt;主な演習内容 専攻演習 I～IV&gt; 本演習では、下記の基礎的な知識の習得を進めながら、自らの関心をベースに独自の研究テーマを設定し、個人またはグループで研究を主体的に進めます。観光関連産業の実際の企業や団体との連携を通じて、社会課題や地域貢献に役立つ研究を目指します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 観光関連産業の基本的な知識の習得</li> <li>② 観光関連産業のトレンドの情報収集</li> <li>③ 国内外の観光コンテンツの情報収集</li> <li>④ 観光マーケティング基礎知識の習得</li> <li>⑤ 観光プロモーション基礎知識の習得</li> <li>⑥ 地域ネットワーク化のためのプラン作成</li> </ol> <p>上記をテーマにした演習を通じて、自身の行動に関する PDCA (Plan-Do-Check-Action) サイクルを体得し、グループ・組織の中での役割を果たすための基礎的なノウハウを身につけます。</p>		
テキスト	その都度、コピー資料等を配布します。		
履修条件 (先修条件等)	特にありませんが、自発的な行動のできる人・熱意のある人を望みます。		
選抜方法	書類選考と面接を実施します。		
成績評価基準	授業参加の積極性、学修発表内容等を総合的に評価します。		
オフィス	創新館 Z404		
連絡方法	右記 e-Mail まで連絡してください。 tani_h@obirin.ac.jp		
ゼミ見学	5月11日(水)、18日(水)、25日(水)の各3限		
そ の 他	ゼミ見学の申込みを事前に連絡してください。詳細について返信します。		